

磁性ナノ粒子による健康被害のメカニズムとチェックリスト

専門用語のやさしい解説

- **磁性ナノ粒子（MNP）**：鉄を含む、髪の毛の何千分の1という非常に小さな粒です。体内に入れると、外から磁石（磁場）で動かしたり、熱を出させたりできます。
- **MENPs（磁電ナノ粒子）**：磁性ナノ粒子の一種で、磁場を電気に変える性質を持つ粒です。磁場をかけると、粒のすぐ近くに微弱な電気を作り出し、神経を刺激します。
- **磁場**：磁石の力が働く空間です。体の外から、見えない形で粒に命令を送れます。
- **局所電場**：粒のすぐ近くにだけ発生する、ごく小さな電気の場合です。神経の「電気で開くドア」を開ける鍵になります。
- **TRPV1**：唐辛子の辛さや熱を感じるセンサーです。刺激されると「痛い」「熱い」という信号が出ます。
- **血液脳関門（BBB）**：脳を守る「関所」です。有害なものが脳に入らないようにしています。
- **迷走神経**：脳と内臓をつなぐ神経です。心拍や血圧、消化を調整しています。

つまり、磁性ナノ粒子は「体内に置かれた小さなアンテナ兼スイッチ」で、外から磁場を送ると、電気や熱を発生させて、神経を勝手に動かせる、というイメージです。

1. 頭部・脳・神経系

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
頭痛	混合型	三叉神経血管系・髄膜・視床	MENPsを頭の血管や神経のまわりに集め、磁場で小さな電気を発生させます。すると血管が広がり、神経が「痛い」と勝手に発火して、ズキズキする頭痛が起きます。唐辛子の辛さを感じるセンサー（TRPV1）も刺激され、痛みが強まります。	☐
頭部の締め付け・痺れ	混合型	後頭神経・頸部筋・体性感覚野	首や後頭部の筋肉にMENPsを置き、磁場で筋肉をこわばらせます。同時に、感覚を処理する脳の場所を興奮させて「締め付けられる感じ」を強めます。粒が筋肉を物理的に刺激することで、痺れも起こります。	☐
脳機能障害	自動主	前頭前野・海馬・視床	記憶や判断を担う場所にMENPsを集め、磁場で神経のつながり方をわざと乱します。すると、判断が鈍る、記憶が混乱する、考えがまとまらない、といった状態になります。MENPsは神経の「電気で開くドア（カルシウムチャンネル）」を介して活動を調節します。	☐
脳梗塞・くも膜下出血	自動主	脳血管・血液脳関門（BBB）	脳の血管の壁にMENPsを集め、磁場の変化で脳を守る関所（血液脳関門）を一時的にゆるめます。さらに、粒が血管壁に物理的な負担をかけ、炎症を起こして血管を弱らせます。その結果、血栓ができたり血管が破れたりしやすくなります。粒の熱で関所の透過性を高めることもできます。	☐
失神	混合型	延髄循環中枢・迷走神経	脳と内臓をつなぐ迷走神経をMENPsで刺激し、血圧と心拍を急に下げる反射を起こします。脳に血が回らなくなり、気を失います。心臓の神経のバランスを崩す方法もあります。	☐

2. 視覚

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
失明・かすみ目	混合型	網膜・視神経・視覚野（V1）	目の神経や視神経に MENPs を集め、磁場で信号の通りを悪くします。見えにくい、霞む、一時的に見えなくなる、といった状態になります。	☐
ズーム現象	混合型	視覚野・毛様体筋	脳の視覚エリアを部分的に興奮させ、物の大きさの感じ方を歪ませます。さらに、目のピントを合わせる筋肉を操作して、焦点を狂わせます。	☐
映像が見える	混合型	視覚野（V1・V2）	脳の視覚エリアを磁場のパターンで刺激し、光がなくても映像を作ります。模様や人影が見えるようになります。	☐
光過敏性発作	混合型	視覚野・視床・脳幹	視覚エリアを興奮しやすい状態に変えます。すると、普通なら平気な光で発作が起きるようになります。	☐

3. 聴覚

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
難聴	混合型	蝸牛有毛細胞・聴神経	耳の奥の音を感じる細胞や聴神経に MENPs を置き、異常に刺激し続けます。疲れて信号が通らなくなり、聞こえにくくなります。	☐
耳鳴り・異常音	混合型	聴覚野・蝸牛神経核	聴神経を勝手に発火させます。音がないのに「キーン」「ザー」と聞こえるようになります。	☐
声が聞こえる	混合型	聴覚連合野・言語野	脳の言葉を処理する場所を刺激し、意味のある声として知覚させます。「誰かに呼ばれた」という幻聴になります。	☐

4. 嗅覚・味覚・口腔

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
味覚障害	混合型	舌の味蕾・孤束核・島皮質	舌の味を感じる細胞や神経を刺激し、金属味・苦味・甘味を勝手に発生させます。実際の食べ物の味が違って感じられます。	☐
嗅覚障害・異臭	混合型	嗅神経・嗅球・梨状皮質	鼻の奥の嗅神経を勝手に発火させます。匂いがないのに「焦げ臭い」「腐った臭い」がします。	☐
食後口内違和感	混合型	口腔粘膜・三叉神経・島皮質	口の中の粘膜に MENPs を置き、ざらつき・腫れ感・異物感を持続させます。食べた後もずっと気持ち悪い感じが残ります。	☐

5. 胸部・循環器・呼吸器

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
心臓発作	自動主	洞房結節・刺激伝導系・心臓自律神経節叢	心臓のリズムを作る場所や神経の集まりに MENPs を集め、磁場で心臓の電気の流れを狂わせま す。すると不整脈が起きたり、血管がけいれんしたりして、心臓発作のような状態になります。粒 の熱で心臓の筋肉に炎症を起こし、血栓ができやすくする方法もあります。	☐
内臓痛	混合型	心臓知覚神経・脊髄後角・視床	心臓や大きな血管の知覚神経に MENPs を作用させ、磁場で痛みの神経を勝手に発火させます。狭 心症のような胸の痛みが起き、腕や顎に痛みが飛ぶこともあります。	☐
血圧操作	自動主	延髄循環中枢・圧受容器・血管平滑筋	血圧を調整する脳の場所や、首の血管にある圧センサーに MENPs を集め、磁場で血圧の調整機能 を乱します。血圧が急に上がったり下がったりして、高血圧発作や立ちくらみ、失神が起きます。 血管の筋肉を収縮させて、血管を細くすることもできます。	☐
息苦しさ	混合型	延髄呼吸中枢・迷走神経・横隔神経	呼吸を調整する脳の場所や迷走神経に MENPs を集め、磁場で異常な呼吸の信号を発生させます。 酸素は足りているのに「息ができない」という感覚が起きます。横隔膜を動かす神経を刺激すれ ば、横隔膜がけいれんして息が速くなります。	☐

6. 腹部・消化器・内臓

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
吐き気・嘔吐	自動主	延髄最後野・化学受容器引金帯（CTZ）・迷走神経	脳の「吐き気スイッチ」（最後野）や迷走神経に MENPs を集め、磁場で吐き気の反射を起こしま す。胃の動きを逆方向にすれば、実際に嘔吐します。耳の奥の平衡感覚の器官を刺激すれば、乗り 物酔いのような吐き気も起こせます。	☐
内臓機能障害	自動主	腸神経系・自律神経・視床下部	腸の神経の集まりや迷走神経に MENPs を置き、磁場で腸の動きのリズムを乱します。腸の中を食 べ物が通る時間が速すぎたり遅すぎたりして、消化吸収がおかしくなります。脳の自律神経の中枢 を操作して、内臓に流れる血の量を変えることもできます。	☐
便秘・下痢	自動主	腸壁平滑筋・腸神経系・脊髄排便中枢	便秘のときは、MENPs で腸の動きを抑え、肛門の筋肉をこわばらせて排便を妨げます。下痢のと きは逆に、副交感神経を過剰に働かせて腸の動きと水分の分泌を増やします。粒が腸壁を物理的に 刺激すると、けいれんするような腹痛を伴う下痢も起こります。	☐

7. 排泄・生殖・性的被害

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
排泄機能操作	混合型	橋排尿中枢・仙髄排尿反射・外尿道括約筋	脳の排尿スイッチや骨盤の神経に MENPs を集め、磁場で排尿の反射を強めたり弱めたりします。 尿意が異常に強くなる（頻尿）か、逆に尿が出なくなる（尿閉）状態になります。尿道を締める筋 肉を操作すれば、自分の意思で排尿をコントロールできなくなります。	☐

失禁	混合型	外尿道括約筋・外肛門括約筋・陰部神経	尿道や肛門を締める筋肉を動かす神経に MENPs を集め、磁場で締めるタイミングを狂わせます。膀胱が満杯でなくても尿が漏れたり、ガスや便を我慢できなくなったりします。脊髄の神経を操作すれば、括約筋を自分の意思で動かせなくなります。	☐
性器痛・挿入感・性的虐待感	混合型	陰部神経・仙髄・島皮質・扁桃体	陰部の知覚神経や脊髄の神経に MENPs を作用させ、磁場で痛み of 神経を勝手に発火させます。実際の刺激がないのに、灼熱感・刺痛・挿入感が起きます。脳の情動の場所（島皮質や扁桃体）も刺激すると、虐待されたような強い苦痛を伴う感覚になります。	☐

8. 運動・平衡・筋

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
不随意運動	随意主（外部からは不随意化）	一次運動野・錐体路・運動ニューロン	運動の命令を出す脳の場所や脊髄の神経に MENPs を集め、磁場で異常な電気信号を発生させます。腕や脚、顔の筋肉が勝手にピクピクしたり、ガクガクと動いたりします。運動神経のカルシウムチャンネルを操作すれば、筋肉の異常な収縮も起こせます。	☐
筋肉硬化	混合型	筋紡錘・ α 運動ニューロン・脊髄反射弓	筋肉のセンサーや脊髄の反射の回路に MENPs を集め、磁場で筋肉の緊張を持続させます。筋肉がこわばったまま戻らなくなり、痙性麻痺のような硬直や、姿勢を保ったまま動けなくなる状態になります。筋肉のカルシウムの出入りを操作して、収縮したまま緩まないようにすることもできます。	☐
めまい・平衡感覚喪失	自動主	前庭器官・前庭神経核・小脳	耳の奥の平衡感覚の器官や前庭神経に MENPs を作用させ、磁場で異常な平衡の信号を発生させます。実際には動いていないのに「回っている」「傾いている」という感覚が起きます。小脳を刺激すれば、歩行がふらついたり転んだりします。	☐
金縛り	混合型	脳幹（REM 睡眠調節）・運動野・脊髄	脳幹のレム睡眠に関わる神経や、脊髄の運動を抑える仕組みに MENPs を集め、磁場でレム睡眠中の「体を動かさない状態」を起きているときにも起こします。意識ははっきりしているのに体が動かない、金縛りの状態になります。扁桃体を刺激すれば、恐怖を伴う金縛りになります。	☐

9. 皮膚・体表・全身感覚

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
切り傷・やけど・皮膚疾患	混合型	皮膚の侵害受容線維・ケラチノサイト・マスト細胞	皮膚の表面や毛穴のまわりに MENPs を集め、磁場で熱を出させます。すると、軽いやけどのような赤みや水ぶくれができます。粒が皮膚の細胞を物理的に刺激すると、炎症を起こす物質が出て、湿疹のような皮疹やかゆみも起こります。かゆみの物質（ヒスタミン）を出す細胞を刺激すれば、強い痒みも作れます。	☐
震動	混合型	筋紡錘・皮膚機械受容器・脊髄後角	筋肉のセンサーや皮膚の振動を感じる器官に MENPs を集め、磁場で異常な振動の信号を発生させます。実際には震えていないのに、体が振動しているように感じます。脊髄の振動感覚の神経を刺激すれば、全身の震動感を作ることもできます。	☐
電気感	混合型	末梢神経・脊髄後角・視	末梢神経に沿って MENPs を集め、磁場で異常な電気を発生させます。神経が勝手に発火して、	☐

		床	「ピリピリ」「ビリビリ」という電気の感覚が起きます。視床の感覚の中継地点を刺激すれば、全身に広がる電気感を作ることできます。	
衝撃痛	混合型	侵害受容線維・脊髄後角・島皮質	痛みを伝える神経に MENPs を作用させ、磁場で高頻度に発火させます。実際の外傷がないのに、「殴られた」「刺された」ような鋭い痛みが起きます。脳の痛みの情動を司る場所（島皮質）を刺激すれば、恐怖を伴う強い痛みになります。	☐
熱感	混合型	TRPV1 受容体・視床下部体温中枢・島皮質	熱や唐辛子の辛さを感じるセンサー（TRPV1）を持つ神経に MENPs を集め、磁場で TRPV1 を直接刺激します。実際の温度上昇がなくても「熱い」「焼ける」という感覚が起きます。脳の体温調節の中枢を操作すれば、発熱したような全身の熱感も作れます。	☐
脱力・疲労	混合型	運動ニューロン・筋線維・視床下部・線条体	運動神経や神経と筋肉のつなぎ目に MENPs を作用させ、磁場で神経から筋肉への信号を弱めます。筋肉がうまく収縮できなくなり、力が入らない、体が重いという感覚になります。脳のやる気に関わる場所（視床下部や線条体）を操作すれば、やる気が出ない中枢性の疲労も起こせます。粒の熱で細胞のエネルギー工場（ミトコンドリア）の働きを低下させ、エネルギーが枯渇したような感覚を作ることできます。	☐

10. 精神・心理・認知・意識・思考

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
感情操作	混合型	扁桃体・前頭前野・島皮質・線条体	脳の感情の中心（扁桃体）や理性の場所（前頭前野）に MENPs を集め、磁場で感情の回路の活動を調節します。不安・恐怖・怒り・悲しみを人工的に強めたり弱めたりできます。脳の報酬系（線条体）を刺激すれば、理由のない高揚感や快感も起こせます。島皮質を刺激すれば、胸が締め付けられるような身体感覚を伴う感情になります。	☐
不安・猜疑心	混合型	扁桃体・青斑核・HPA 軸	扁桃体や青斑核（警戒のスイッチ）に MENPs を集め、磁場でノルアドレナリンの放出を促します。理由のない不安感、他人への猜疑心、過剰な警戒心が起きます。脳のストレス指令系（HPA 軸）を刺激すれば、ストレスホルモンが持続的に出て、慢性的な緊張状態になります。	☐
精神疾患	混合型	前頭前野・海馬・側坐核・扁桃体	前頭前野や海馬に MENPs を作用させ、磁場で神経のつながり方（可塑性）を異常に調節します。うつのような無気力や悲観、不安障害のような症状、幻覚や妄想が起きます。側坐核のドーパミン系を操作すれば、依存症のような渴望や、喜びを感じにくい状態も作れます。	☐
思考盗聴	混合型	側頭葉・前頭前野・聴覚連合野	言葉を扱う脳の場所や聴覚の連合野に MENPs を集め、磁場で心の中の声（内声）に関わる神経活動を乱します。「自分の考えが外に漏れている」「他人に読まれている」という感覚が起きます。実際に読まれているかどうかに関わらず、監視されているという感覚が強まります。	☐
意識介入	混合型	脳幹網様体・視床・前頭前野	脳幹の覚醒に関わる場所や視床に MENPs を作用させ、磁場で意識のレベルを調節します。ぼんやりした意識状態、解離したような感覚、逆に異常な覚醒が起きます。前頭前野の活動を抑えれば、判断力が低下して、暗示にかかりやすくなります。	☐

11. 睡眠・食欲・性欲（三欲操作）

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
不眠・睡眠妨害	自動主	視床下部（オレキシン神経・VLPO）・視交叉上核・脳幹	眠りを妨げる物質（オレキシン）を出す神経に MENPs を作用させ、磁場で覚醒の信号を強めます。眠りを促す場所（VLPO）を抑えれば、寝つきが悪くなったり、途中で目が覚めたりします。体内時計の中核（視交叉上核）を乱せば、夜眠れず昼にだるいという状態も作れます。	☐
過食・食欲減退	自動主	視床下部（弓状核・腹内側核）・報酬系	食欲を調整する脳の場所（弓状核）に MENPs を集め、磁場で食欲の神経の活動を調節します。過食のときは食欲を促す神経を活性化して満腹感を鈍らせます。食欲減退のときは逆に、すぐ満腹に感じさせたり、吐き気を起こしたりします。脳の報酬系を刺激すれば、特定の食べ物への強い渴望も作れます。	☐
性的興奮・精力減退	混合型	視床下部（性的二形核）・扁桃体・仙髄	脳の性的な中枢や脊髄の反射中枢に MENPs を作用させ、磁場で自律神経と血管の反応を調節します。性的興奮のときは副交感神経を活性化して血流を増やし、勃起を起こします。精力減退のときは交感神経を優位にして、勃起不全や性欲の低下を起こします。扁桃体を刺激すれば、理由のない性的興奮や嫌悪感も作れます。	☐

12. 自律神経・内分泌・生理

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
生理操作	自動主	視床下部-下垂体-卵巢軸・子宮平滑筋	脳のホルモン指令（GnRH）を出す神経や下垂体に MENPs を集め、磁場でホルモンの分泌を調節します。月経周期が乱れたり、止まったり、不正出血が起きたりします。子宮の筋肉に MENPs を作用させれば、生理痛のようなけいれんや子宮の収縮も起こせます。	☐
体質操作	自動主	視床下部（体温・代謝中枢）・甲状腺・副腎	脳の体温調節や代謝の中枢に MENPs を作用させ、磁場で基礎代謝や体温の設定を変えます。甲状腺ホルモンや副腎のホルモンの分泌を調節すれば、疲れやすい、体重が変わる、体温がおかしくなる、といった状態になります。	☐
ホルモン腺攻撃	自動主	下垂体・甲状腺・副腎・膵島	ホルモンを出す腺に MENPs を集め、磁場で熱を出させて炎症や細胞の障害を起こします。下垂体の機能が低下したり、甲状腺の働きが異常になったり、副腎が弱ったり、インスリンの分泌が乱れたりします。ホルモンのバランスが崩れると、体全体の代謝・免疫・精神状態に幅広く影響が出ます。	☐

13. 疾病・発作・死亡（横断）

被害項目	分類	関与する部位	磁性ナノ粒子のメカニズム	被害チェック
風邪症状	混合型	視床下部（発熱中枢）・免疫系・上気道	脳の発熱中枢に MENPs を作用させ、磁場で熱を出す物質（プロスタグランジン）の産生を促します。感染していないのに熱、悪寒、だるさが起きます。鼻や喉の粘膜に MENPs を集めれば、鼻水・咳・喉の痛みといった局所の炎症も起こせます。	☐
癌	混合型	細胞の DNA・免疫監視機構	MENPs の熱や活性酸素を利用して、正常な細胞の設計図（DNA）を傷つけます。免疫の監視機能を MENPs で弱めれば、異常な細胞が排除されにくくなります。ただし、これは実験レベルの仮説であり、実際に癌化を人為的に制御することは極めて難しいです。	☐
病気誘発	混合型	免疫系・自律神経・内分泌系	免疫細胞や自律神経の集まりに MENPs を作用させ、炎症を起こす物質の異常な放出や、免疫の誤作動を誘導します。自己免疫のような炎症、アレルギー反応、慢性の炎症が起きます。脳のストレス指令系（HPA 軸）を操作すれば、胃潰瘍・高血圧・うつといったストレス関連の病気も誘発できます。	☐
確認被害者の死亡	混合型	心臓・脳血管・呼吸中枢	心臓のリズムを作る場所や脳幹の呼吸中枢に MENPs を集め、磁場で致死的な不整脈（心室細動）や呼吸停止を起こします。あるいは脳の血管に MENPs を集め、熱で血管を弱らせて、くも膜下出血や脳梗塞を起こします。これらは「自然死」や「事故死」として処理されやすく、証拠が残りにくいのが最大の問題です。	☐